Hakkiu-chin — a book on figures on cloth, copper and lacquered wares of Old Japan published by Tomoki Taguchi about 60 years ago.

丘様

朝日影にほひさかゆる大御代にみ久米
めでたし中にたえにしもとめしきしまのみち
たゞつらゆきてゆたかなるこころかくしこの言葉
あるはまた上宮のことのもとのよしから
遠く山の末にも伝はるわざもよめ
三十五尾あるいは陶淵明のそこたのまれける

なりもとさへ給ひてうらみ給ふなとさゝれん
らうれしきまゝもとにてなきひとなくなくかなしむ
まう八月田作田作樹を河のまゝに
人なみにやくなき物あつかひいやしくゆく
くらおもひなしてたまつこの教令なとなる
不縁像あるやうもとのことくみな教まゝにありし

おもうまゆきまよひて見えおかしき
らくは緑綾の路ゆゑらうえものかはなき
たふ風ゆちくらへしものもそてらさて
ひあくのてよ程まあひ見る東方なる
緑なり帝紀のいはくらもの覆まる
ときはなれ兄弟をこそくのかつらあ陸奥しさと

歌のこゝろはおのつから文章となりて
なつかしきやまと言葉にもまさりける
之作者樹にて身をつくし秀れたる哉
花やちる花よまむ我も記
この書の名哉天つちの椿おもひ
まよひて坂桜文字にまうつし

すめらみことを承傳てかきつる跋

村田春門しるす

大和國法隆寺
水瓶模様

法隆寺
水滴模様

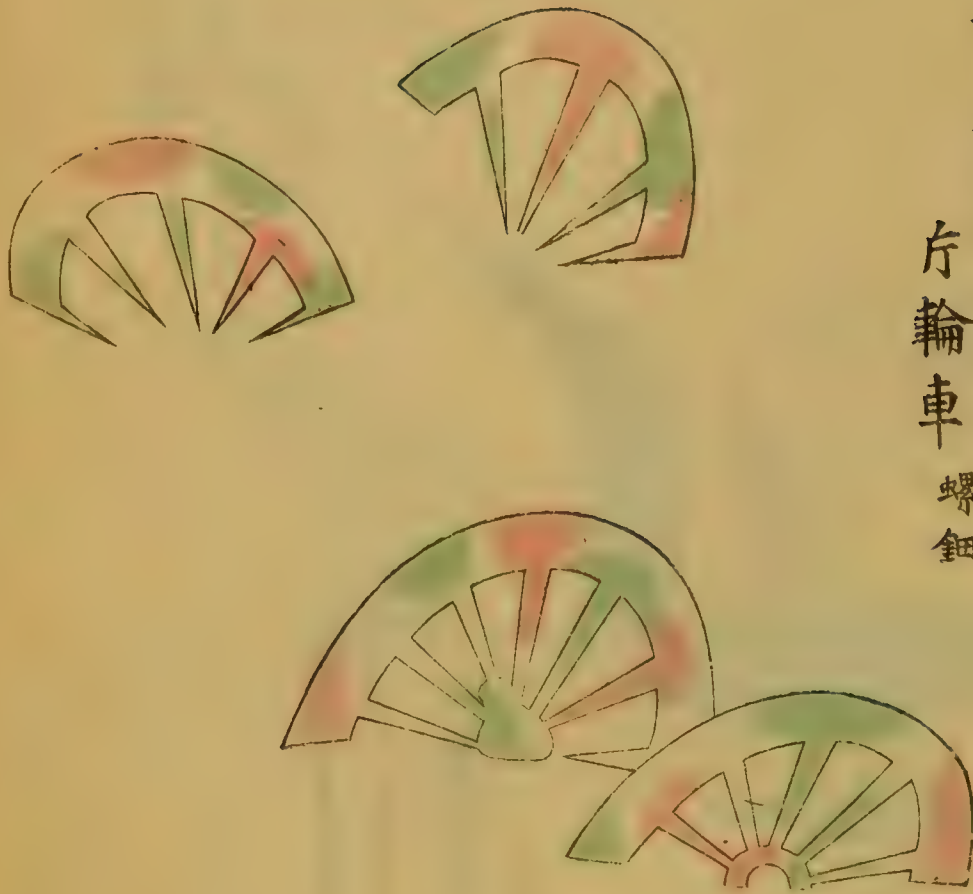
河内國勝軍寺
理源大師阿字色紙形

洛東寺文書嚢模様

法隆寺文匣紋

片輪車 螺鈿

東大寺八幡宮

奏儛新靺鞨纓紋

東大寺
八幡宮轉害會
田樂法師着用水干
鳳形繡文 右之袖外

同　左之袖外

同　脊之中

法隆寺
袈裟筥文　蒔繪

東寺
大師行状記中

春日權現驗記
卷軸　螺鈿

高雄山佛繪
女房衣紋波立涌

中殿四季御屏風裏形

東大寺鴨毛御屏風端文

法隆寺刀子箱紋

伴大納言画巻中
波丸

石山縁起画巻中

東大寺
狛鉾袍闕腋紋 黄糸繍

東寺
螺鈿軸

東大寺
平舞所用素袍 白綾

同 御翳文

東大寺八幡宮

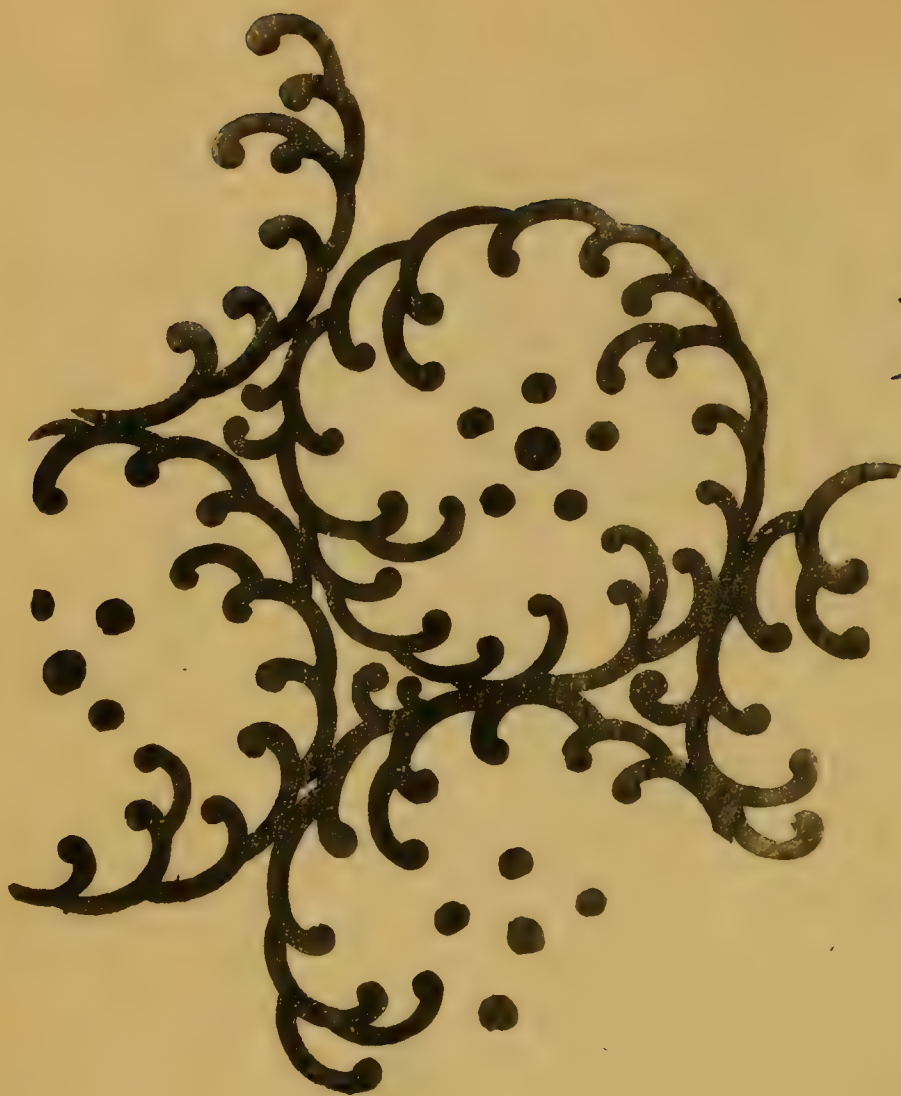
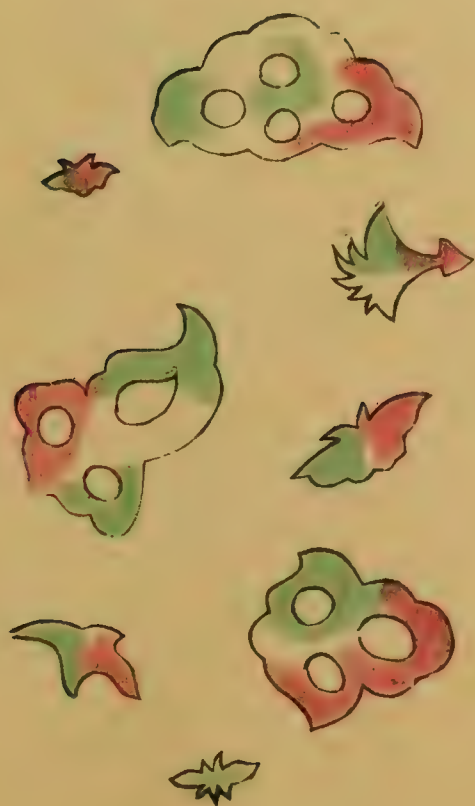
新鞢鞨袍地紋 瓜唐草 色濃紺

東大寺八幡宮
壺鐙紋様

市屋道場画巻中
障子模様

東大寺八幡宮田樂着用

水干　文檜垣蔓草

法隆寺
周尺模擬

宇治平等院
鳳凰堂莊嚴螺鈿

ラ樂春日社古惟帳印金

東大寺若宮
蠻繪袍熊繡紋

春日験記
画巻ノ中
石竹襷

洛東永観堂縁起
料紙

東寺大師行状記中

東寺挍倉
水瓶桶蓋画

東大寺八幡宮
和鞍螺鈿海松丸

伴大納言畫巻中

法隆寺打敷紋

東大寺正倉院
屛風紋樣蝶鳥

法隆寺幸櫃紋螺鈿鳳凰九

幸櫃足螺、鈿紋

東大寺
辛櫃錦花鳥
墨畫

南殿壁代風帶
蝶鳥

法隆寺香匣蓋

法隆寺
賢聖瓢蓋紋

南殿御帷朽木形

ム壁代

法隆寺片輪車文匣裏様

東大寺
辛櫃繪様

東大寺
鴨毛御屏風裏㪅

東大寺
平舞所用下襲　白綾紋纐纈紋

法隆寺
太子御衣裏裂紋様

山城國雄徳山
八幡宮御几帳裏紐紋

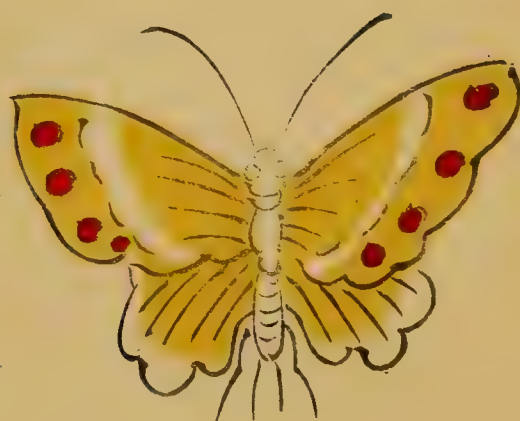
春日社句御供御磐尾畧

螺鈿燕子紋

鶴ヶ岡八幡宮

平胡籙螺鈿文

東寺
藏治帶懷紙
鳥落葉金泥
波白泥

加茂社戸帳画 蝶鳥

しるもの文に貴賤のさためあることは
やゝ後のよすふはしみりけるをみるに
ちはやふる神代のことはしらぬ人の
よとなまてかけまくもかしこき
推古天皇天の下しろしめしゝ十二階
のみかと冠位服色をさためさせ給ひし

右楽寺宗代々此朝廷以名を寄進了
尊号をかうふりたまへるところは桃文小
制おわ楽しゝを先すす世一のはかり時稱かりて
やうしく位色此大ふまたすかりゝゝ王
文にあるまき乃以て書ありらし志す何様也
小直衣本楽在以下は多く諸此来るへし

色難能好さ繍手織出さるにやへりて
英屈心あら往色萬種をかし製作安東
難免有東は以不可心ある東て京夷能は以刀は
布召免器物より特に楽しかるを有名乃
文に於らを満量未許毎此為年を調度に
如ら勢たに云うよはして為是以語に書之以

おほうり不持以尓し人布里を滿ね出ゝ高佐

支乃是哉年以東はこれや者老れ樓老

滿堂羅集波奈東見はやし

重滿古毛うし

杏岡行義

博物局藏版

東京々橋區南傳馬町二丁目拾三番地
發兌書肆　有隣堂　穴山篤太郎

HAKKIW-CHIN

FIGURES ON CLOTH, COPPER AND LACQUERED WARES OF OLD JAPAN, 1830

KINKO-DSUFU

FIGURES ON DAMASK AND BROCADE OF OLD JAPAN, 1830